マイクロソフトセキュリティアップデートに伴う 電子入札システム注意事項について

2014 年 9 月 10 日よりマイクロソフト社のセキュリティ強化に伴い、電子入札システムロ グイン時に Internet Explorer 上に警告メッセージ「Java(TM)は、最新のものではなく更 新が必要なためブロックされました。」が表示される場合があります。

(警告メッセージ表示イメージ)

・ブラウザの上部に表示される場合

😵 Java(TM) は、最新のものではなく更新が必要なためブロックされました。

・ブラウザの下部に表示される場合

😵 Java(TM)は、最新のものではなく更新が必要なためブロックされました。 危険性の説明(W) 更新(U) 今回は実行(R) 🗴

※バージョンにより表示イメージが変わります。

上記メッセージが表示された場合、そのままでは正常に電子入札システムにログインす <u>ることができません</u>。以下手順にて、Internet Explorer の「信頼済みサイト」設定のご対応をお願いします。

【警告メッセージが表示された場合の対応手順】

(1) Internet Explorer を全て閉じる。

※警告メッセージの「更新」「今回は実行」ボタンはクリックしないでください。

(2)「信頼済みサイト」の登録を行う。

以下アドレスを InternetExplorer の「信頼済みサイト」に登録してください。 ※「信頼済みサイト」の設定手順は別添手順をご確認ください。

(信頼済みサイトの設定アドレス)

https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/

<u>https://www.epi-asp.fwd.ne.jp/</u> ※入札情報公開システムご利用の場合のみ

※上記メッセージの「更新」ボタンをクリックした場合(Java のアップデートを行って しまった場合)は、ご利用の認証局に対応手順のご確認をお願いします。

以上

(別紙)信頼済みサイトの設定手順

※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。 1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

- (1)メニューバー[ツール]-[インターネットオプション]①をクリックします。 🔏 空白のページ - Internet Explorer about:blank 🖕 🏘 🐴 ▼ 🗟 ▼ 🖶 ▼ 📴 ページ(P) ▼ (○) ツール(O) ▼ (○) ▼ (○) 閲覧の履歴の削除(D)... 接続の問題を診断(C)... ポップアップ ブロック(P) ۲ フィッシング詐欺検出機能(H) ۲ アドオンの管理(A) オフライン作業(W) Windows Update(U) 全画面表示(F) F11 メニュー バー(M) ツールバー(T) ۲ Sun の Java コンソール インターネット オプション(0) 1
- 2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。



- 1. 信頼済みサイトダイアログにて以下の操作を行います。

 (1)[次のWebサイトをゾーンに追加する]欄①に下記「電子入札URL」に示すアドレスを一行ずつ入力します。
 (2)[追加]ボタン②をクリックし、[Webサイト]にURLが追加されたことを確認します。
 (3)上記(1)~(2)を必要なURL分行います。
 - 電子入札URL 受注者: ht
 - https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/
 - https://www.epi-asp.fwd.ne.jp/ (入札情報公開システムを利 (4)[閉じる]ボタン③をクリックします。(Internet Explorer6の場合は[OK]ボタン) →2. インターネットオプションダイアログ(3)へ (入札情報公開システムを利用する場合のみ必要)

信頼済みサイト	×
このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの W べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。 ①	eb サイトす
この Web サイトをゾーン(ご追加する(<u>D</u>): 	で 動(A)
j j	<u>豚(R)</u>
▼このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする(S)	3 1530

- 2.2. セキュリティ設定-信頼されたゾーンダイアログにて以下の操作を行います。
 - (1)[ポップアップブロックの使用]①を[無効にする]に変更します。
 - (2) [ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]②を[有効にする]に変更します。 ※Internet Explorer 9以降にはこの設定項目が無いため、設定は不要です。
 - (3)[サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める]③が[有効にする]
 - であること確認します。
 - ※通常の初期設定は〔有効にする〕です。〔無効にする〕が選択されている場合は〔有効にする〕に変更してください。 (4)〔OK〕ボタン④をクリックします。
 - <u>→2. インターネットオプションダイアログ(4)へ</u>





セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン
設定

 サーバーにファイルをアップロードするときにローカル ディレクトリのパスを含める 無効にする 有効にする
 □ サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する ○ 無効にする ○ たかに⇒
 ● 有タカレシ9る ● ドメイン間でのデータ ソースのアクセス ● ダイアログを表示する
 無効にする 有効にする
 □ ファイルのドラッグ/ドロップ、またはコピー/熱り付け ○ ダイアログを表示する ○ 無かにする
*Internet Explorer の再開後に有効になります。
カスタム設定のリセット
リセット先(R): 中(既定) ▼ リセット(E)
OK 4*ンセル

- 3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。
- 以上で設定は終了です。